



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

Fritz Melchers 博士

(Senior Research Group Leader, Professor
Max Planck- Institute for Infection Biology, Berlin)

Niches of B cell development

2012年5月17日(木) 17時30分-19時
医学部5号館201

Melchers博士は、幾人ものノーベル賞学者を輩出したスイスBasel Instituteの所長を21年間務めた。その名所長ぶりはもちろん、研究所の閉鎖を行った最後の所長としての活躍がScience誌等に紹介されるなど、世界的に有名である。その間もその後も、国際免疫学会の会長として長い間、世界の免疫学をリードされてきた。また、大の親日家としても知られ、多くの日本人免疫学者を育てたほか、日本免疫学会に対する彼の寄付を基にMelchers' travel awardが設立されるなど、日本の免疫学の発展にも大きく貢献された。

今回、幸運にも仙台を訪問していただく機会を得たので、彼のライフワークであるB細胞分化に関する講演をお願いした。

参考文献

1. Melchers F.: The Basel Institute for Immunology, Annu Rev Immunol, 2011
2. Von Boehmer H and Melchers F: Checkpoints in lymphocyte development and autoimmune disease. Nat Immunol, 11: 14-20, 2010, Review
3. Melchers F.: Anergic B cells caught in the act. Immunity, 25: 864-867, 2006, Review

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 石井 直人(免疫学分野)
問い合わせ先: 内線8096